

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第2部門第7区分

【発行日】平成17年7月14日(2005.7.14)

【公開番号】特開2003-155164(P2003-155164A)

【公開日】平成15年5月27日(2003.5.27)

【出願番号】特願2001-352624(P2001-352624)

【国際特許分類第7版】

B 6 5 H 54/02

D 0 2 J 1/00

【F I】

B 6 5 H 54/02 D

D 0 2 J 1/00 X

【手続補正書】

【提出日】平成16年11月19日(2004.11.19)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】発明の名称

【補正方法】変更

【補正の内容】

【発明の名称】アクリル系フィラメント糸条パッケージの製造方法

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

アクリル系フィラメント糸条をコアボビンに巻取りパッケージを得るに当たり、糸条の巻始めから巻終わりにかけて巻取り張力を暫減させると共に、巻取り張力の減少に対応して低下するエア圧で糸条にエア交絡処理を施し、巻始めから巻終わりまでの糸条に交絡度が10～25ケ/mの範囲で、交絡度の差が10ケ/m未満の交絡を付与することを特徴とするアクリル系フィラメント糸条パッケージの製造方法。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0006】

【課題を解決するための手段】

本発明は、アクリル系フィラメント糸条をコアボビンに巻取りパッケージを得るに当たり、糸条の巻始めから巻終わりにかけて巻取り張力を暫減させると共に、巻取り張力の減少に対応して低下するエア圧で糸条にエア交絡処理を施し、巻始めから巻終わりまでの糸条に交絡度が10～25ケ/mの範囲で、交絡度の差が10ケ/m未満の交絡を付与することを特徴とするアクリル系フィラメント糸条パッケージの製造方法、にある。